

BT-180H

品番	BT-180H					
電圧	AC100	OV 50/6	0Hz			
除染時 オゾン出力	600m;	g/h				
低濃度 オゾン出力	15mg/h					
UVランプ	8w					
風量	ターボ 強 中 弱					
消費電力	99w 90w 85w 78w					
タイマー	1H / 2H / 4H / 8H					
適応面積	最大100平米					
電源コード長さ	1.80m					
製品寸法	W400×D240×H680mm					
質量	10.5kg					





【製造元】



株式会社タムラテコ

〒577-0012大阪府東大阪市長田東2-1-27 TEL.06-4309-1350(代)

【正規代理店】



TEL.027-361-6633





オゾンエアが室内の浮遊菌・付着菌を除菌 においのもとになる原因物質も分解

2種類のオゾン濃度をシーンに合わせて発生

低濃度オゾンエアー

有人環境下でも作業が可能な 微弱オゾンエアを常時発生

高濃度オゾンエアー



20秒発生/40秒休止を繰り返し

1時間運転、2時間運転を選択可能



設定時刻(退室時刻)より任意時間[タイマー機能] 高濃度オゾンエアを発生し燻蒸

〉オゾンガスによるインフルエンザウイルス不活性化試験

試験機関:財団法人北里環境科学センター

[試験日時] 平成21年8月6日

[試験場所](財)北里環境科学センター ウイルス部 ウイルス課

[試験ウイルス] A型インフルエンザウイルス

[試験資料] オゾンガス(濃度0.1ppm) [オゾンガス発生装置BT-03(TT-11DK)]

[作用時間]・オゾン曝露:0,1,2,3時間

・未曝露:0(初期ウイルス感染価:オゾン曝露と共通),3時間

[試験方法]

1.ウイルス液0.1mLをシャーレに塗布する

2.シャーレを安全キャビネット内で20分間放置し乾燥させる

3.チャンバー(※1)内にオゾン発生装置とシャーレ4個(※2)を設置

4.オゾンガスを発生しウイルスの付着したシャーレを曝露する 5.シャーレを経時的に取り出し、ウイルスを回収する

6.回収したウイルス液の感染価を測定する

[チャンバー内温湿度]・温度:開始時23度 終了時27度

·湿度:開始時65% 終了時55%

[注記] ※1. チャンバー:塩ビ製W1000×D400×H390 / 容積:約156L ※2.1個は予備として設置。

図② ウイルス感染価の経時変化 ━━ オゾンガス暴露 ━━ 未暴露 異衆時間(時間)

表① オゾン暴露のよる ウイルス感染価の経時変化

0(初期) 1 2 3 オヅンガス暴露 6.3× 10 ⁸ 10 ⁶ 10 ⁶ 1.7× 10 ⁶ 10 ⁶ 1.7× 10 ⁶	試験区	作用時間(時間)				
10 ⁸ 2.9×	叫水区	0(初期)		2	3	
	オゾンガス暴露		4.5× 10 ⁷	6.3× 10 ⁶	1.7× 10 ⁶	
	未暴露		***	***	2.9× 10 ⁸	

表② オゾン暴露による ウイルス感染価対数減少値(LRV)

試験区	作用時間(時間)				
叫水区	0(初期)		2	3	
オゾンガス暴露	0.0	1.1	2.0	2.6	
未暴露		***	***	0.3	
成込価減小値(IPV) logo(知期成込価二条時間での成込価)					

〉人型結核菌 H37RVとBCGTokyo株に対するオゾン殺菌テスト

試験機関:公益財団法人 結核予防結核研究所



実験① 人型結核菌H37RV株に対するオゾンの噴霧時間と殺菌効果

実験区分	オゾン噴霧の噴霧稼働時間	培養結果		
1	5sec.	++++	++++	
2	10sec.	++++	++++	
3	30sec.	++++	++++	
4	1min.	+++	+++	
5	3min.	++	++	
6	5min.	++	++	
7	10min.	++	++	

3分以上オゾンを噴霧した場合、オゾン噴霧時間の延長に伴う 「相対的な殺菌効果」すなわち、「菌数減少効果」が認められた。

オゾン噴出濃度:0.3ppm 0.3ppm×3分CT値0.9以上にて 人型結核菌H37RV株の殺菌効果が認められる。

実験② 噴霧吸入したBCGTokyo株に対する殺菌効果

実験区分	BCGTokyo株の噴霧菌量と時間	7H10寒天平板培地上での検出菌数			
天献四月	DCGTOKYO体の境務困里と时间	オゾン+紫外線	陽性対照群		
1	4.2×10 ² cfu/min.	0	41		
2	2.1×10 ² cfu/30sec.	0	22		
3	4.2×10¹cfu/min.	0	2		
4	2.1×10¹cfu/30sec.	0	0		
5	4.2×10⁰cfu/min.	0	0		
6	2.1×10°cfu/30sec.	0	0		

噴霧吸入させたBCGTokyo株は、「オゾン+紫外線」の試験では いずれの実験区分でも菌が検出されなかった。

陽性対照群との比較では、噴霧菌量に対して 本装置は完全な除殺菌効果を示した。

〉BIOZONE BT-088M消毒能力評価試験結果(※1)







実使用空間での実証効果 ではありません の殺菌能力評価試験です

│緑膿菌 │ MRSA │ MSSA 医療機器承認申請のため 3菌種を99%以上低減



新開発

コイル式オゾン発生体

新開発のコイル式オゾン発生体は オゾンの発生量をスイッチします 最大発生量の無人環境下では600mg/hを誇ります また、有人モードでは人がいても安全な0.1ppm程度の低濃度オゾンエアを発生させ

高濃度オゾン発生体

緩やかに室内の除菌と消臭を行います





オゾンは付着菌もすべて除菌 当社の試験にて実証されています

〉空気清浄機との比較実験

		生育集落数						
験菌	対象	試験前	1時間後	2時間後	3時間後	4時間後	5時間後	
	弊社オゾン機器 風量0.44㎡/min	305	332	2	0	0	0	
大 腸 菌	A社 ^{風量1.7㎡/min}	305	318	364	340	309	310	
	B社 _{風量2.0㎡/min}	305	318	333	339	334	334	
黄色ブドウ球菌	弊社オゾン機器 風量0.44㎡/min	323	2	0	0	0	0	第会文
	A社 _{風量1.7㎡/min}	323	354	314	323	321	293	院臨タ文
	B社 _{風量2.0㎡/min}	323	328	342	333	323	298	メイにの

在室時 有人環境下での動作

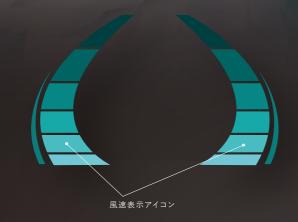
オート運転

高精度室内環境センサー(ダスト&臭気) 空間の状況を監視し、最適な運転を選びます



マニュアル運転

風速を任意で設定可能



低濃度オゾンエア





光触媒除菌消臭



酸化チタン表面に0²-(スーパーオキサイドイオン)と・OH(水酸ラジカル)という2種の活性酸素を 発生させます

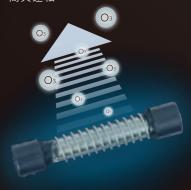




高濃度オゾンエア除菌



20秒発生&40秒休止の 間欠運転



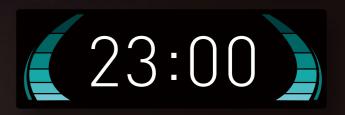
静音運転の スリープモードも搭載

退去時無人環境下でも動作

時刻予約によるオゾン燻蒸モード



部屋から退出する時間に 高濃度オゾンエアによる除菌



[オゾン燻蒸開始の時刻予約]



[燻蒸時間の設定]



設定することが可能すべてをリモコンで

